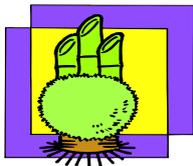


日本共産党 伊勢崎市議団ニュース

2010年
新春号



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団
伊勢崎市北千木町 2087 25-4854



北島 元雄

24-8410 25-1130

090-4065-2120



長谷田公子

090-2935-9963

子どもも大切ー本物の「日本一の教育都市」に転換を！

11月30日から12月15日まで
定例市議会が開かれ、長谷田議員が一般質問を行いました。

暑い！伊勢崎市

全ての教室にエアコンを

今年の夏も日本で一番暑い日が2回あった伊勢崎市。文部科学省も教室は30度以下と基準を決めているのに、教育委員会は教室の温度調査は学校任せで、知らんぷりです。

市立伊勢崎高校と併設の四葉学園中等教育学校は、ともに全室エアコン完備で、ホームページで宣伝しています。それなのに、特別支援学校の一部などのをぞき、ほとんどの子どもたちは扇風機だけの教室で汗を流しながら勉強です。熱中症にならないかと、心配です。

財力が伊勢崎より低い桐生市でさえ、全教室へのエアコン設置を決めました。特別な学校だけに至れり尽くせりの環境整備を行うのではなく、全ての教室にエアコンを、と求めました。

でも、教育委員会は国の補助が出る改築・改修時にしか設置する気が無いようです。

猛暑が命も奪う環境悪化の中で、エアコンはぜいたく品ではなくなっています。「子どもたちの健康のためにエアコン設置を」と、声をあげていきましょう。

7割超すクラスが

多人数学級の中学生

また、昨年度入学以降の市立伊勢崎高校と四葉学園中等教育学校は、市独自の30人学級です。教育委員会は、きめ細かな指導ができると評価しています。

県の施策で小1・2年は30人、小3・4年は35人学級ですが、小学校五年生以上は40人学級のまま。中学校の75%のクラス、中学3年生ではなんと9割が、35人以上の多人数学級です。中学校は不登校も多く「きめ細かな指導」がいつそう必要です

学級定員についても、公平な教育環境を強く求めました。



「偽装請負」はダメ！

学校労務技士は直接雇用

学校の労務技士さんの仕事が、正規雇用から臨時職に、さらに「業務請負」にと置き替えられてきています。

「業務請負」は、請負会社の指示で仕事するのが決まりです。労務技士さんが校長先生等からの指示なしに仕事が出来るはずがないので、全国で「偽装請負」ではと指摘され、直接雇用への切り替えも起こっています。大泉町でも、今年10月から業務請負の労務技士さんを直接雇用しました。

長谷田議員がこの問題を指摘したところ、直接雇用の方向で検討するとの答弁がありました。

35人以上学級の割合

(2010年5月1日現在、複式校と特別支援学級・学校を除く)

学年	割合
小5	20.6%
小6	56.9%
中1	64.3%
中2	61.8%
中3	92.7%